

皆さん新年明けましておめでとうございます。

令和7年の仕事始め式に当たり一言ご挨拶を申し上げます。

始めに、松本正治議長、池田稔巳副議長、並びに議員各位におかれましては、新年早々のお忙しい中にも拘わりませずご臨席をいただき、職員に対しご激励を賜わりますこと誠に有り難く厚く御礼を申し上げます。

どうか本年も引き続きご指導を賜わりますようお願い申し上げます。

この度の年末年始は、例年よりも長い休日期間となり、皆さんも英気を養われ、ご家族やご友人とともにお健やかに新年をお迎えになられたことと拝察いたします。市の公式行事といたしましても、3日には恒例の「二十歳のつどい」、5日には消防出初式を挙行でき、すでに新しい年が元気よくスタートできた勢いとともに町中が躍動感に溢れています。干支の巳年にちなんで、これからも脱皮を繰り返し力強く成長し、合併20年の節目に相応しい平戸市として進化を続けていきたいと思えます。

特に今年は、本市行政の様々な分野において、これまで練り上げ、温めてきた数々の計画が実践段階に入り、努力の蓄積が結実する節目の一年になると予想されます。具体的には、日本初のアルベルゴ・ディフーズタウン事業のスタートや市民待望の西九州自動車道平戸インターの完成、さらに懸案であった南部市民屋内運動場の完成などが予定されております。これに加えて、江戸時代に平戸藩の財政を支えた益富捕鯨が創業して300年という節目にもあたり、これら文化的な価値を伝承し発信してきた生月町博物館島の館が開館30周年を迎えます。こうした平戸市政の歴史に刻まれる記念すべき事業や節目を市民の皆様とともに祝いし、次の世代に向けた発展に繋げていきたいと思えます。

そして、このような事業達成の背景には、職員各位のひたむきな努力があることを改めて評価したいと思います。年末の職員等表彰においては、税務課総務徴収班が顕著な実績を収め表彰の対象となりましたが、他の課においても、これに匹敵するような実績が成し遂げられつつあることは十分承知しているところです。こうした流れをより一層加速化させ、組織内にとどまらず市民総意のもと、その努力と結果を評価してもらえよう頑張ってもらいましょう。

さて年末に大掃除をしておりましたら、16年前に私が初めて市長選挙に挑んだ時のDVDが見つかり、地元ニュースとして特集された内容を改めて観る機会がありました。当時は、

リーマンショックの影響を受けた世界規模の経済の低迷と長引くデフレによる国内の不況、合併当初の財政危機宣言からの脱却が大きな課題となっており、新しい市長の政治姿勢や政策に注目が集まっていました。

その中で私が記者のインタビューに答えた内容は、「市内に点在する歴史や自然の魅力を積極的にアピールし、交流人口を拡大させ雇用確保を図っていく」「テーマ性のある物語によって戦略を構築し、平戸応援団を全国に広げ手繰り寄せる」「農林水産業や加工業、観光業など縦割りの産業を融合させ、平戸市を一つのテーマパークとして魅力あふれるまちづくりにつなげていく」などと訴えていました。今振り返っても、それらは間違っていなかったという確信が得られますし、またその流れは今後とも必要不可欠な戦略であるとも言えるのではないのでしょうか。ただしその一方で、16年前に描いた施策の方向性は間違っていなかったとしても、まだまだ道半ばであるという感じも受け止められます。国内では今後も人口減少傾向は続くでしょうし、そうした世相の中で地域間競争はますます激化していくことが予想されます。つまり私たちは一瞬たりとも歩みを緩めてはならず、目の前に山積した課題を一つひとつ解決に導き、着実に前進し続けなければなりません。

冒頭に申し上げた通り、本年は平成の大合併で新しい平戸市が誕生してから20年目の節目を迎えます。先日の「二十歳のつどい」で祝福を受けた若者たちと同じ清新さと意欲をもって、今後の故郷の歴史を刻み、後世にバトンタッチできるよう全力を尽くしてまいりたいと思います。

それから繰り返すにはなりますが、私は昨年12月定例市議会閉会日に次の市長選挙に立候補しないことを表明しました。その中で私は、「政治家が早めに出処進退を公表すると『求心力が低下する』というジンクスがあるが、この定説を覆すことに挑戦したいと思っている。残された10か月を全力で駆け抜け、今まで以上にエネルギーにアクセルを全開にし、任期満了まで任務を遂行する」と述べた次第です。どうか職員各位におかれては、この私の思いを共有していただき、昨年までに積み上げてきた様々な分野における数多くの努力と実績を確かなものにしていただきたいと思います。そして今後の飛躍発展に向けた息吹を、本年さらに大きく伸展させ、枝葉を広げ、実を結び、期待以上の成果が得られますよう、ともに頑張ってもらいましょう。

結びになりますが、本年が平戸市民の皆様にとって、素晴らしい年になりますことと、議長はじめ議員各位の益々のご健勝、併せて職員各位の更なるご奮闘を期待申し上げ、年頭の

ご挨拶といたします。

終わります。